

《目次》P1…新年度の挨拶	P2～3…新理事挨拶	P4…総会報告	P5…組織図
P6…歓迎会報告	P7…講演会参加記・認知症サポーター養成講座開催報告	P8…災害研修会開催報告	
P9…理事会報告	P10…各局のお知らせ	P11…会員施設一覧	P12…編集後記

## 新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史  
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

平成 30 年 5 月 17 日 (木) に開催された定時社員総会には多くの会員に出席していただきありがとうございました。また、理事会より提案をさせていただいた全ての議案に対して承認をいただき感謝申し上げます。皆様には総会の議案書から当会の活動の全体を把握していただけたと思います。事業が集中している社会局と学術局を中心に円滑な事業展開を見据えて組織の再編成をいたしました。今後もさらに質・量ともに充実した活動が展開できるよう理事会は努力をしていきますのでご協力をお願いいたします。



今年度は新たに認知症対策推進委員会、失語症友の会「ふじやま」運営委員会を設立し、地域で生活をしている認知症や失語症の方への支援についても活動を展開していきます。前号の県士会ニュース 40 号でも紹介したように山梨県内における失語症友の会の活動の実情を考慮し、会員に地域で生活する失語症者との関わる機会を設け、さらに失語症意思疎通支援者やボランティアの養成なども目的として失語症友の会の設立、運営にチャレンジします。「ふじやま」を通じて地域で生活をしている失語症者の出番作りや活動への参加に貢献するためにも会員の理解や協力が必要となります。多くの会員の参加を期待しています。

この春、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスの同時改定が行われ、発症直後から生活期までリハビリテーション専門職の関与が明確となり途切れのないリハビリテーションサービスの枠組みが構築されました。しかし、一方では短期間で ADL を向上させ在宅復帰につなげる成果主義がさらに評価される結果となりました。リハビリテーション専門職の働き方まで影響を及ぼす制度改革ですが、今だからこそ言語聴覚士としての倫理的な姿勢をもって目の前の患者に真摯に向き合っ  
て欲しいと思います。報酬以外では各都道府県においては第 7 次医療計画・第 7 期介護保険事業計画・第 3 期医療費適正化計画の策定が行われ、地域の実情（高齢化等の人口動態、医療・介護ニーズの程度、医療・介護資源など）を踏まえた上で、地域完結型の医療と介護の一体的提供の推進が図られます。

医療・介護・福祉の施策が都道府県や市町村に移譲され、地域包括ケアシステムの深化・推進が図られる時代において県士会の果たす役割は大きくなっています。言語聴覚士の資質の向上や交流の場はもちろん、3 士会の連携基盤となる山梨県リハビリテーション専門職団体協議会、山梨県介護支援専門員協会を含めた「やまなしリハ・ケアを考える会」などの合同事業、山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（山梨 JRAT）の構成団体としての活動、山梨県との連携に基づいた事業への参画や委託事業など本会ならではの事業を展開していきます。

今年度も県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。

## 新理事挨拶

### 副会長：赤池三紀子（湯村温泉病院）

この会が法人化する以前から数えて今年で19年目の副会長を務めます。副会長の役割は何をおいても会長の補佐と覚悟を決めて進んでまいりました。今年度のもう一人の副会長は偶然名字が同じなため、フレッシュで優しい彼にぜひ、間違われるように謙虚に職務を全うしたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

### 理事：河西祐子

#### （春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

事務局を担当させていただきます河西です。毎年、社員総会や新入会員歓迎会に多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。今年度もタイムリーな情報発信や効率的な理事会運営を図り、県土会事業が円滑に展開できるよう裏方としてサポートしていければと思います。皆様の一層のご協力を宜しくお願い致します。

### 理事：市川奈弥（巨摩共立病院）

前期に引き続き、理事に就任させていただきました。今年度から訪問リハビリテーション委員会を担当させていただきます。訪問リハの経験も少なく力不足ではありますが、皆さんと一緒に学習していきたいと思っています。皆さんが山梨の県土会員でよかったと思えるように尽力します。よろしくお願い致します。

### 理事：小池京子（国立病院機構甲府病院）

今期も学術局長を務めさせていただくことになりました。今年度、学術局は部の編成が変わり、「生涯研修部」と「教育部」の2つの部で構成されることになりました。生涯研修部は、学術講演会、症例検討会、その他研修会や講座を担当します。専門性の質的向上に貢献できるように企画していきたいと思っています。また教育部では、今まで積み重ねてきた新卒者研修がより充実した内容となり、新卒者の方々の力となれるように頑張りたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

### 副会長：赤池洋（山梨大学医学部附属病院）

私は理事として3期に渡りホームページ管理部、広報部、職能部に携わってきました。本年度からは副会長と社会局局长として県土会活動に努めてまいります。これからも県土会活動の更なる発展を目指していきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

### 理事：池神多加子（湯村温泉病院）

理事としては2期目になります。今年度は、新しく設立される失語症友の会「ふじやま」の運営委員長という大役をいただきました。地域で生活する失語症の方々の願いを笑顔と喜びに変えられるよう、県土会員皆様のお力をお借りしながら一緒にこの会を築いていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 理事：桂川謙祐（甲府城南病院）

今年度より会報編集・ホームページ管理部の部長を務めさせていただくこととなりました。全国一の県土会活動をニュース、ホームページを通して県内外に発信していきたいと思っております。会員の皆様にとって、より価値のある情報を創っていきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

### 理事：佐々木蘭子

#### （春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

今年度より財務を務めます春日居の佐々木です。今年度より組織も新しくなり、新たな事業も始まります。県土会事業が滞りなく運営できるよう、少しでも皆さまのお役に立てるよう微力ではありますが努力してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

### 理事：高橋正和（石和温泉病院）

今期も広報部を担当させて頂くことになりました。当土会のさまざまな活動をより円滑に遂行していくにあたり、当土会の活動内容を正しく社会に認識してもらい、社会的認知を上げていく必要があります。当土会がより成熟した団体に発展していくために、広報活動に従事してまいります。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

### 理事：元木雄一郎（甲州リハビリテーション病院）

今年度より生涯研修部の部長を務めさせて頂くことになりました。明日の臨床に活かせるような、有意義な症例検討会や講演会などを開催していけるように企画・運営をしていきます。多くの会員の皆様のお待ちしております。どうぞご協力の程よろしくお願い致します。

### 理事：山田徹（笹吹中央病院）

今年度より理事となり、新たに新設された認知症対策推進委員会の委員長を務めさせて頂くこととなりました。臨床経験は浅く知識・技術も未熟ですが、自己研鑽を怠ることなく、理事として県土会の発展に尽力して参ります。委員会では「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」に言語聴覚士としての専門性を確立していけるよう取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

### 監事：角田美奈（山梨リハビリテーション病院）

山梨リハビリテーション病院の角田です。今年度、監事を務めさせて頂くことになりました。今回で2期目となります。監査を通して、当会の多岐に渡る活動を実感しました。微力ではありますが、少しでもお役に立てますよう、努力してまいります。よろしくお願い致します。

### 理事：中嶋崇博（山梨県立中央病院）

今期から理事を務めさせて頂き、教育部を担当させて頂きます。山梨県立中央病院の中嶋です。過去2年間、教育部の部員として活動させて頂いた経験を活かして、新卒者研修会の更なる充実に努めていきたいと思っております。皆様のご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

### 理事：吉澤由香（甲府城南病院）

今年度から新しく創部された渉外部の部長を務めます。リハ関連団体や行政との連携・協力をはじめ、「失語症者向け意思疎通支援事業」等を通じて、地域に暮らすコミュニケーション障害を有する方のより豊かな生活・活動を皆様とともに支援していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

### 監事：中村晴江（甲府城南病院）

今年度より監事に就任いたしました。まずは、この10年間、皆様のご支援をいただき、副会長として活動できました事に感謝いたします。今後は、当土会が今までに築いてきた実績を生かし、地域や会員の皆様との真摯な繋がりを大切にした活動の展開を期待し、監事として常に俯瞰的な視点で監査を行ってまいります。どうぞよろしくお願い致します。



# 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 平成30年度 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 平成30年度 定時社員総会が、5月17日（木）午後6時30分より、ベルクラシック甲府で開かれました。

司会の赤池三紀子副会長が開会を宣したのち、定款第18条に基づき石田礼氏が議長に選出されました。議長より出席者数は118名（会場出席者62名、書面表決者7名、委任状提出者49名）で定款第19条の定足数を満たしており、総会は成立する旨が告げられました。次いで、議事録署名人に、高橋正和氏、元木雄一郎氏が選出され、議案の審議に入りました。



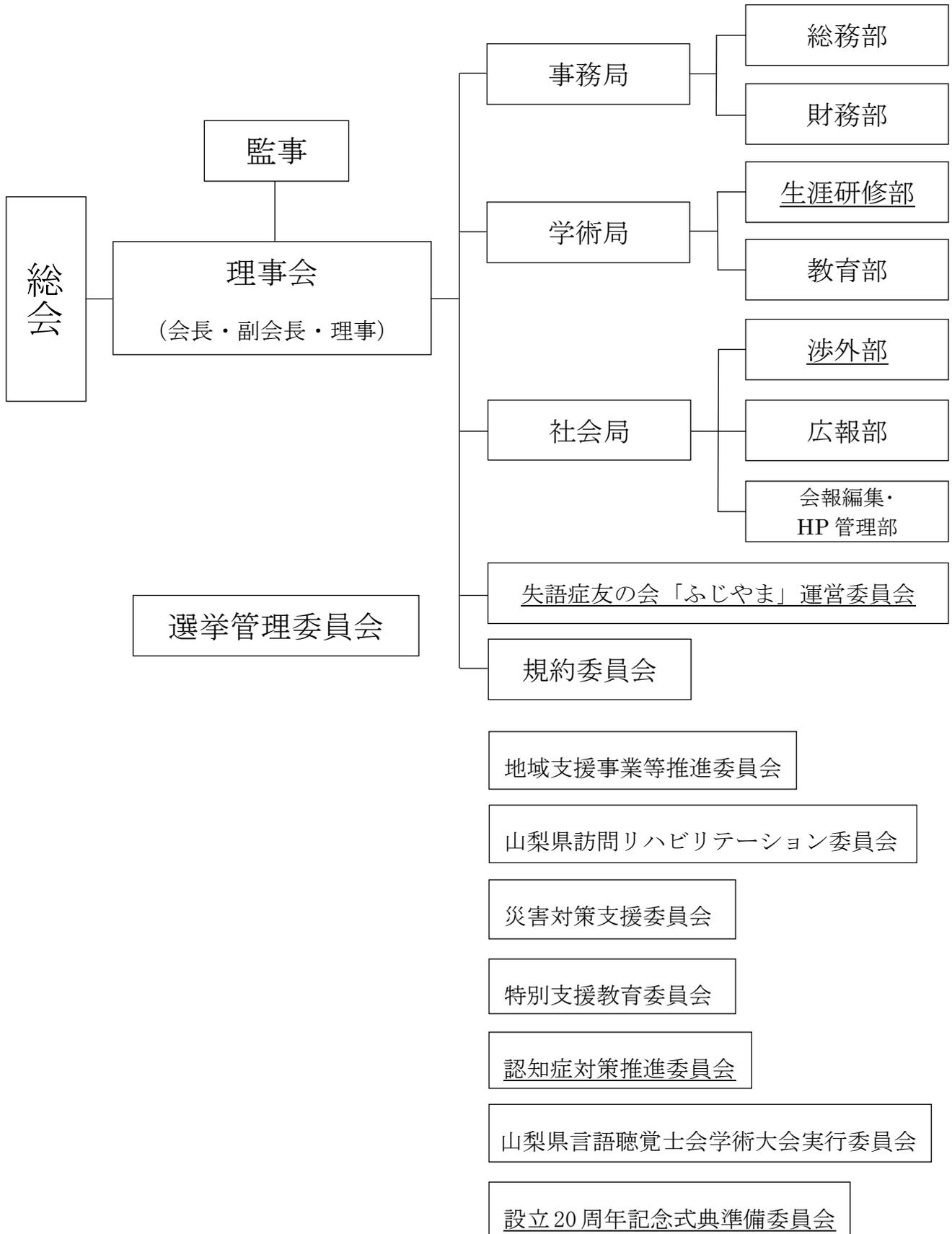
第1号議案 平成29年度事業報告に関する件では、河西祐子事務局局長より事務局、学術局、広報局、社会局、第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会、地域支援事業等推進委員会、災害対策準備委員会、訪問リハビリテーション委員会、特別支援教育委員会の平成29年度の活動が報告されました。続いて、第2号議案 平成29年度収支決算報告に関する件、第3号議案 監査報告に関する件では、池神多加子財務部部长より収支決算報告が行われたのち、角田美奈監事より当法人の会計及び業務の執行についての監査報告が行われました。採決の結果、いずれの議案も賛成多数で承認されました。第4号議案 平成30・31年度役員承認に関する件では、14名の理事が選任されました。第5号議案 組織変更に関する件では、内山会長より「生涯研修部」、「渉外部」、「山梨県言語聴覚士会『ふじやま』運営委員会」、「認知症対策推進委員会」等、部の名称変更や委員会の新設が提案され、賛成多数で可決承認されました。第6号議案 平成30年度事業計画案に関する件では、河西事務局局長より各部局、委員会の事業計画案について、第6号議案 平成30年度収支予算案に関する件では、池神財務部部长より平成30年度の収支予算案について説明がなされ、共に賛成多数で承認されました。第7号議案の山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、中村晴江専門職団体協議会会長より平成29年度の各委員会の活動報告、決算報告、平成30年度の役員案、活動計画案、予算案について報告され、賛成多数で承認されました。以上、理事会で提出した議案はすべて承認され、議長の職務は終了となりました。



最後に、内山会長より、今年度の特筆すべき事業である「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」、「山梨県言語聴覚士会失語症友の会『ふじやま』」についての説明がありました。地域で生活する失語症者や家族を継続的に支援していくことは我々の役割であることを伝え、午後7時20分に閉会となりました。

## <平成30年度 役員一覧>

会 長	内山 量史	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
副会長	赤池 三紀子	湯村温泉病院	赤池 洋	山梨大学医学部附属病院
理 事	池神 多加子	湯村温泉病院	市川 奈弥	巨摩共立病院
	桂川 謙祐	甲府城南病院	小池 京子	国立病院機構甲府病院
	高橋 正和	石和温泉病院	中嶋 崇博	山梨県立中央病院
	吉澤 由香	甲府城南病院	山田 徹	笛吹中央病院
	河西 祐子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
	佐々木 蘭子	春日居サイバーナイフ・リハビリ病院		
	元木 雄一郎	甲州リハビリテーション病院		
監 事	角田 美奈	山梨リハビリテーション病院		
	中村 晴江	甲府城南病院		
第11回学術大会大会長	小池 京子			
	実行委員長	高橋 正和		



※下線は新設された組織

## 平成 30 年度 新入会員歓迎会報告

平成 30 年度新入会員歓迎会が 4 月 17 日ベルクラシック甲府にて行われ、18 名の新入会員を迎える事ができました。本年も山梨県理学療法士会小林会長、山梨県作業療法士会山本会長をはじめ役員の方々にもご参加頂きました。また、昨年度行われた新卒者研修会全 6 回を全て出席した会員 6 名の表彰も同時に行われました。



### 先輩から後輩へメッセージ

甲府城南病院 柳原友佳子

新入会員の皆様ご入職おめでとうございます。そして、ようこそ山梨県へおいで下さいました。新たな生活をスタートし、期待と不安でいっぱいだと思います。私も昨年山梨県での新生活を始めた際には、不安もたくさんありましたが、先輩や同期に支えられながら現在は充実した日々を送っています。

山梨県言語聴覚士会は、内山会長のお言葉にもあったように“顔の見える士会”ということで同じ職場の先輩だけでなく、他施設の経験豊富な先輩方と学ぶ機会が多くあります。新卒者研修会では、翌日から臨床で使える知識が学べると共に、臨床でわからないことも部員の先生方に親身になって相談に乗っていただけます。又、全国で活躍されている先生の講演会や症例検討会等、学べる環境が整っている事は山梨県だからこそだと思います。皆さんと一緒に学ぶこと、一緒に働けることを嬉しく思います。共に日々成長していけるよう頑張っていきましょう。



## 第4回学術講演会 参加報告

平成30年3月15日(木)に平成29年度第4回学術講演会がびゅあ総合にて開催されました。今回は作業療法士や教員など他職種や県外からの参加者もみられ、73名と多くの方に参加していただきました。

国立病院機構甲府病院 小松 富美子

今回は「高次脳機能障害、発達障害、認知症にみる障害の神経心理学的な理解と支援」をテーマに、早稲田大学の坂爪一幸先生よりご講演をいただきました。講義では、発達障害を『高次脳機能が遅滞・偏向している状態』、認知症を『高次脳機能が低下・喪失している状態』と捉え、支援していくという、今まで私が捉えていた診かたとは異なる考え方を教えていただきました。発達障害も認知症も、行動特徴や低下している能力に注目し、行動変容につなげるような支援を行なうことが多くなりがちですが、両者とも高次脳機能障害と捉えることで、表面化する行動ではなく、原因となる機能の正しい理解ができることがわかりました。今回、先生の講演を拝聴し、小児から高齢者まで高次脳機能という一貫した捉え方をすることで、原因をより深く理解し、それが具体的な支援に繋がる事を学び、今後、自分の担当している患者様にいかしていきたいと思いました。また、講演会の前に福島復興支援バザーが開催され、福島のお菓子や味噌などが販売されました。開始と同時に長蛇の列となり、あっという間に売り切れとなりました。震災から7年が経ちますが、このように復興支援の取り組みを継続して毎年実施していくことは、とても重要だと思います。

日々の臨床に役立つ講演会や研修会で自己研鑽するとともに、災害の復興支援を継続し取り組む県土会の姿勢を学び、県土会員として、今後も積極的に活動していきたいと改めて思いました。



## 認知症サポーター養成講座開催報告

笛吹中央病院 山田 徹

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者のことです。国の認知症施策として認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の取り組みとして「認知症サポーターキャラバン」が展開されています。

当士会でも昨年度に引き続き、平成30年3月2日、認知症サポーター養成講座を開催しました。当日は、理学療法士、事務職を交えた27名の参加を頂くことができました。講座は、認知症に関する知識だけでなく、地域の一住民として認知症の方へどのように接することができるのかを、実演も交えて学んでいきました。それぞれの専門性の立場からの考え方を踏まえながら、自分が認知症になったら「こんな声かけをしてほしい」、

「こんな接し方をしてくれたら安心する」といった認知症者の視点に立った意見を共有することができました。

認知症は様々な生活障害が出現しますが、コミュニケーション面から機能障害・生活障害へアプローチしていく事が出来るのが言語聴覚士です。「認知症になっても安心して暮らしていける地域づくり」になくなくてはならない存在となるよう、今後も積極的に活動を行っていききたいと思っております。



# 平成 29 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会

## 災害対策支援委員会研修会

災害対策支援委員 赤池 洋

平成 30 年 3 月 16 日、敷島総合文化会館にて平成 29 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会研修会が開催されました。当日は 100 名以上の参加者（ST、PT、OT、医師、看護師、事務職、学生）がみられ盛大に開催されました。

本研修会では熊本託麻台リハビリテーション病院 言語聴覚士山本恵仙先生より「熊本地震復興までの道のり～温かいご支援に感謝～」と題しましてご講演をいただきました。山本先生は熊本地震では JRAT 現地災害対策本部（熊本本部）の活動本部長として活動部隊の配置調整や活動把握、JRAT 本部との連絡など多岐に渡りご活躍されておりました。ご講演では熊本地震発災時から JRAT 現地対策本部の



活動、そして熊本県復興リハビリテーションセンターへの流れについて実体験をふまえた内容を写真や動画を通して大変わかりやすくお話ししていただきました。また、熊本県言語聴覚士会では震災直後より会員の安否確認に 1～2 週間の時間を要していた実態をお聞きし、当士会でも災害時に連絡が取れる体制を構築していくことが必要だと強く感じさせられました。日本では東日本大震災をはじめ、熊本地震などの大きな震災は今後いつどこで発生しても不思議ではありません。その中で今回のご講演より得た知識を念頭に置き、平時から災害に向けた備えや心構えが必要だと再認識することができました。

参加者からのアンケート結果では、「リハ専門職に求められることを知ることができた」、「被災地での本部運営について理解できた」、「災害時での具体的な動きや各々の時期に合った活動について理解できた」など、研修会を通して災害リハビリテーションの概念や重要性について参加者に広く周知し、関心を高める機会となりました。



当士会では東日本大震災後より東日本大震災復興支援事業や救急救命研修会を開催し、災害について風化させないために啓発活動を行ってきました。今後も専門職としての資質向上に努め、様々な支援のために活動を推進していきたいと思っておりますので、今後ともご協力をお願い致します。

## 理事会報告

### 平成 29 年度 第 9 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 19 日（金）18：40～19：30

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・市川・池神・  
和泉・小池・佐々木・高橋・吉澤・河西

欠席理事：梶原・桂川・元木

#### <協議事項>

1. 平成 29 年度代表者会議では、各局・委員会の事業報告、山梨県言語聴覚士会失語症友の会「ふじやま」、失語症者向け意思疎通支援事業、災害時連絡網についての説明を行うこと、2 月 2 日までに資料を事務局に提出することが決定した。
2. 平成 30 年度定時社員総会を 5 月 17 日（木）に開催することが決定した。
3. OS 連盟の名義後援依頼を承諾することが承認された。

#### <報告事項>

1. デジタルカメラの購入、公文書発番、会員動向について報告された。
2. 山梨県在宅多職種の会 世話人会・意見交換会、山梨県民間病院協会幹事会・各部会長合同会議、3 土会意見交換会の活動報告が行われた。
3. 第 6 回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会、第 4 回山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会について報告された。
4. インクルーシブ教育推進事業の 12 月実績について報告された。
5. 4 月の理事会で総会資料の確認を行うことが報告された。

### 平成 29 年度 第 10 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 2 月 23 日（金）18：38～20：25

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・池神・和泉・  
市川・桂川・小池・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：梶原・佐々木

#### <協議事項>

1. 3 月 19 日までに総会資料を提出し、3 月 23 日の理事会で検討することとなった。次年度の第 1 回理事会を 4 月 17 日（火）に開催することが決定した。
2. 平成 30 年度第 1 回学術講演会は、介護支援専門員の鈴木先生に医療介護の連携をテーマに講演を依頼することとなった。
3. 8 月開催予定の基礎講座の講師が「職種連携論」河西理事、「協会の役割と機構」内山会長に決定した。
4. 平成 30 年度第 1 回症例検討会を 6 月 14 日に開催することが決定した。
5. 第 4 回学術講演会の際に復興支援チャリティーを行うことが決定した。

#### <報告事項>

1. 事務局より代表者会議開催、会費納入状況について報告された。
2. 第 5 回症例検討会、第 5 回小児領域勉強会の開催が報告された。
3. 株式会社カレイドが来年度より賛助会員となることが報告された。
4. 甲府市在宅医療・介護連携推進会議第 10 回提供体制構築ワーキンググループ、平成 29 年第 3 回インクルーシブ教育システム推進連携会議、山梨県民間病院協会 PTOTST 部会第 3 回幹事会、介護職場人材育成研修について報告された。
5. 山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会と山梨県で「災害時リハビリテーション支援チームの派遣に関する協定」の締結式が行われたことが報告された。
6. 平成 29 年度第 2 回特別支援教育委員会研修会が 2 月 10 日に開催されたことが報告された。
7. 平成 30 年度県土会組織案が提示された。

### 平成 29 年度 第 11 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 3 月 23 日（金）18：40～21：50

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池（三）・中村・赤池（洋）・池神・和泉・  
市川・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：梶原

#### <協議事項>

1. 年度末に配布する講演会資料を手渡しできない施設へは会報誌と一緒に送付することが決定した。
2. 来年度の新卒者研修は計 6 回開催、第 1 回研修会は内山会長、赤池副会長が講師となることが決定した。
3. 県土会ニュース 41 号の企画が承認された。
4. 当士会員が講師となる場合の謝礼が決定した。
5. 平成 30 年度事業計画案、ならびに予算案の確認・修正作業を行った。
6. 研修会に参加する際の諸費用については規定を設けて統一していくこととなった。

#### <報告事項>

1. 「ニコニコ長生きやまなし体操」DVD を南アルプス市へ送付したことが報告された。
2. 平成 29 年度第 4 回学術講演会の開催が報告された。
3. 平成 30 年度第 1 回症例検討会の予定が報告された。
4. 「認知症サポーター養成講座」、東日本大震災復興支援チャリティーの開催について報告された。
5. 山梨県民間病院協会主催介護健康フェア、第 4 回地域包括ケア推進協議会、山梨県民間病院協会 平成 29 年度臨時社員総会への出席が報告された。
6. 平成 29 年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会研修会について報告された。  
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院  
書 記：安富朋子、山田 徹、山田典子、坪井沙紀  
議事録作成：河西祐子

## 《各局からのお知らせ》

### 事務局

#### ＜総務部＞

- ・社員総会後にベルクラシック甲府で開催されました新入会員歓迎会は、79名（内、新入会員17名、来賓7名）のご参加をいただき、盛大に行うことができました。皆様のご協力に感謝いたします。

#### ＜財務部＞

- ・総会時に127名の会員に会費を納入していただきました。未納入の方は、佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

（年会費：10,000円）

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

県土会事業の更なる充実・発展へ向けて、理事会の運営や情報発信、財務管理等に取り組んでいきます。今年度も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 学術局

今年度も内容の充実した講演会や研修会を企画していきたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしています。

#### ＜生涯研修部＞

##### 第1回 学術講演会

日時：平成30年6月6日（水）

講師：鈴木伸治先生（竜王リハビリテーション病院）

テーマ：「地域支援における言語聴覚士の役割  
～介護支援専門員の立場から～」

会場：男女共同参画推進センター（びゅあ総合） 大研修室

##### 第1回 症例検討会

日時：平成30年6月14日（木）

会場：甲府市東公民館

発表者：今井美紀先生（甲州リハビリテーション病院）

バイザー：吉澤由香先生（甲府城南病院）

##### 第1回 小児領域勉強会

日時：平成30年6月16日（土）

会場：甲府共立診療所

内容：「症例検討」

##### 第2回 症例検討会

日時：平成30年8月16日（木）

会場：甲府市東公民館

発表者：松本英之先生（甲府城南病院）

バイザー：佐々木蘭子先生

（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）

##### 生涯学習プログラム 基礎講座

日時：平成30年8月29日（水）

基礎講座3「職種連携論」

基礎講座5「協会の役割と機構」

#### ＜教育部＞

##### 第1回 新卒者研修会

日時：平成30年5月24日（木）

会場：甲府市東公民館

内容：「言語聴覚士の職務と役割」

「STのコミュニケーションに欠かせないもの  
-感情に働きかけられるSTをめざして-」

講師：内山量史会長

赤池三紀子副会長

##### 第2回 新卒者研修会

日時：平成30年6月20日（水）

会場：甲府市東公民館

内容：「グループワーク」「1分間スピーチ」「神経心理検査の  
診方」講師：教育部陪員

##### 第3回 新卒者研修会

日時：平成30年7月12日（木）

会場：甲府市東公民館

内容：「摂食嚥下障害と構音障害の診方」「リスク管理」

講師：小池京子先生

##### 第4回 新卒者研修会

日時：平成30年9月13日（木）

会場：未定

内容：「対人コミュニケーション」

「標準失語症検査（SLTA）-基礎知識-」

講師：中村晴江先生

教育部陪員

### 社会局

本年度より「渉外部」を新設し、さらに前身の広報局広報部と会報編集・ホームページ管理部が新たに加わり3部体制となりました。

渉外部では前身の職能部の職務を引き継ぎ、日本言語聴覚士協会や他団体との連携等を行います。また、本年度からの事業として失語症者意思疎通支援事業にも携わっていきます。

広報部では一般向けの広報活動、会報編集・ホームページ管理部では会報誌「県土会NEWS」の発行、ホームページの運営を行います。

今年度も会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

# 平成30年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

平成30年4月現在

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597
恵信梨北リハビリテーション病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660
巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614	今村耳鼻咽喉科 めまい・難聴クリニック	400-0124 甲斐市中下条 868	Tel 055-277-8741
健康科学大学 リハビリテーションクリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985	山梨厚生病院 リハビリテーション室	405-0033 山梨市落合 860	Tel 0553-23-1311 Fax 0553-23-0168
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727
湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0005 富士吉田市上吉田 6530	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
一宮温泉病院 リハビリテーション部	405-0077 笛吹市一宮町坪井 1745	Tel 0553-47-3131 Fax 0553-47-3434	あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890
山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992	甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3900	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017
田中美郷教育研究所 ノーサイドクリニック甲府教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401	富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939
おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーション	400-0053 山梨県 甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628
山梨県立あけぼの医療福祉センター 成人寮アドバンテージあさひ 自立訓練部門	407-0046 韮崎市旭町上条南割 3251-1	Tel 0551-30-0111			

# おかげさまで35周年



これからもやさしい聴こえのお手伝い  
快適生活をサポートします



認定補聴器専門店

## 山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173  
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 山梨大学附属病院前

# 私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



**Atos**  
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F  
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890  
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD  
在宅 通信販売

Healthy Network



病院で使われている介護食を  
ご家庭にお届けしています。

- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細い方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、  
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載  
されています。また、栄養指導で  
役立つコラムも多数ご紹介して  
います！

とろみ調整食品は  
トロミパワースマイル  
がオススメ！

カタログのご請求・お問い合わせは

株式会社ヘルシーネットワーク 〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3

☎0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く

ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>

かきまぜても 離水しにくい 新しいゼリー

# まぜても ジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った  
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodcare  
JAPAN

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本4-19-16 OMGビル  
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

## 摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎日使う味が楽しめる 10種類の味</p> <p><b>エプジョイゼリー</b></p> <p>フレーン いちご・ヨーロ チョコレート あんぱん パサパサ ゆず 抹茶 ストロベリー りんご味</p>	<p>個別の栄養状態に合わせた 食へきりサイズ</p> <p><b>エプジョイカップゼリー</b></p> <p>いちご味 牛乳・あんぱん味 まよろし味 コーヒー味 りんご味 マンゴー味</p>	<p>摂取しやすい41品</p> <p><b>エプジョイ ハイナローゼリー</b></p> <p>りんご味 せも味</p>	<p>トロミの質の向上と粘度を再現</p> <p><b>つるりん</b> quickis</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。

☎0120-52-0050 クリニコ 検索 <http://www.clinico.co.jp> 森永乳業グループ病院栄養部門 株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を  
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

## Pepti-Sal



Pepti-sal(ペプチサル)とは、  
「Peptide(ペプチド)+  
「Saliva(唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された  
低刺激性のオーラルケア製品です。  
デリケートなお口をやさしくケアし、  
お口の環境を健康に保ちます。  
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売

- ペプチド 抽出
- ペプチド フライド
- キリン トロミ
- 保湿成分
- pH 中性
- 香 味
- 無添加
- アルコール 無添加
- パラベン 無添加

T&K ティーアンドケー株式会社 ☎0120-555-350 [www.comfort-tk.co.jp](http://www.comfort-tk.co.jp)

# 編集後記

新年度を迎え、県士会役員が新体制でスタートしたと同時に当部員も新たなメンバーでのスタートを切りました。県士会においては、失語症者向け意思疎通支援事業に関する活動や失語症友の会「ふじやま」の発足など、今年度より始まる試みが多くあります。会報編集・HP管理部では、それらの新たな活動を含め、年3回のニュースの発刊、ホームページの運営を通して、会員の皆様により有益な情報を提供していきたいと考えています。今年度もより充実した誌面創りができるよう、部員一同励んでいこうと思います。今後とも県士会ニュースの発刊にご協力の程宜しくお願い致します。

(桂川 謙祐)

## 一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

- <発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
- <発行人> 内山 量 史
- <編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

石和温泉病院	南 曜子
恵信梨北リハビリテーション病院	坂本 楓
甲州リハビリテーション病院	間宮 愛貴
甲府城南病院	桂川 謙祐・河村 有美
	堀内 史子
巨摩共立病院	堀内 史子
湯村温泉病院	岡 大樹
山梨大学医学部附属病院	赤池 洋

- <事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療科内  
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436  
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
- <発行日> 2018年7月1日 第41刊